

# アスベスト 除去処理を大幅簡素化 ラッピング工法を開発・発売

小川テック

小川テックは、アスベスト処理会社の佛ミヤ



除去作業

ゴラの技術支援のもと、アスベスト除去処理を大幅に簡素化、コストダウンした部分隔離アスベスト除去ラッピング工法「ふうじろうじ」の製造販売を開始した。

## 環境共生技術

### ラッピング工法による除去作業の様子

同工法は、頭丈な膜により、電気室の天井などで部分的にアスベストを包み込んで隔離。膜の外から除去し、安全な作業を実現するもの。自走式駐車場などでは、稼働しながら作業を行える。大規模な全体隔離が不要で、工程を短縮できる。また、隔離コスト・人体の洗浄コスト・仮設コストなどを削減できるため、従来工法に比べ10

〜20%のコストダウンが可能になるという。作業手順は、①建物に吹付けられたアスベスト直近30〜50cmに「ふうじろうじ」を装着②内側の仮設枠に、フィルムの支持50cmピッチで、ロープにより結束③負圧粉塵装置を起動し、除去空間に負圧を発生。これによりフィルム破損を防ぐ④作業員がクロープでアスベスト除去を開始⑤除去したアスベストは密閉状態でセットした除去袋に格納、搬出するという流れだ。

ラッピングの材質はポリエチレンの専用フィルムを使用。塩に比べ、約2倍の伸び率を持ち、配管や配線などの障害で

破れにくい。有害物質を含まず、燃焼してもCO<sub>2</sub>と水蒸気しか発生しない。